

農業経済学特論 I (2単位)

担当者氏名 寺内 光宏

◆学習・教育目標

「農業経済学特論」の学習目標は、社会科学的な観点から「農業」に関する諸現象を明らかにしていくことである。そうした諸現象を明らかにしていくために、理論的な枠組みが、必要不可欠となる。「農業経済学特論 I」においては、そうした理論的枠組みとして一般的に「ミクロ経済学 (micro-economics)」と呼ばれるものを学習する。ミクロ経済学 (micro-economics) とは、微視的経済学と訳される。個別的な家計や企業の経済行動の分析から始まって、全体的としての市場および経済の分析に至る経済学の領域。M. E. L. ワルラスの一般均衡理論がその典型である。個別的経済主体の観点からは、市場価格が重要な行動指針であり、価格分析が最重要の課題となる。本授業においては、「ミクロ経済学」における「消費の理論」「生産の理論」を中心に学習を行う。到達目標は、「ミクロ経済学」の基礎的理論の修得である。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

_____ 市場機構 _____ 消費者行動の理論 _____ 企業行動の理論 _____ 完全競争市場 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	論理と方法	ミクロ経済学の論理と方法	授業の理解をめざす。 配布資料を予習しておくこと
2	市場機構 (1)	市場均衡の分析、需要の弾力性、供給の弾力性	
3	市場機構 (2)	与件の変化と均衡	
4	消費者行動の理論 (1)	消費者と需要、消費者・家計の定義、無差別曲線	
5	消費者行動の理論 (2)	需要の決定、消費者行動と需要曲線	
6	消費者行動の理論 (3)	与件の変化と需要、無差別曲線の形状と需要	
7	消費者行動の理論 (4)	消費者需要理論の応用と拡張、顕示選好理論	
8	企業行動の理論 (1)	企業行動と生産関数、生産関数の形状	
9	企業行動の理論 (2)	利潤最大化の条件、短期の利潤最大化	
10	企業行動の理論 (3)	要素価格の変化と長期利潤最大化	
11	企業行動の理論 (4)	企業行動と費用曲線、費用曲線の定義	
12	完全競争市場 (1)	短期の利潤最大化と供給曲線、短期の市場供給曲線	
13	完全競争市場 (2)	与件の変化と短期費用曲線	
14	完全競争市場 (3)	規模に関する収穫と長期費用曲線	
15	完全競争市場 (4)	産業の長期均衡、市場の長期供給曲線	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)
配布プリント

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)
/ / ()

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

第 15 回授業終了時に「試験」を実施して評価 (100%) を行う

◆その他受講上の注意事項